

## 2017 年度(平成 29 年度) 年間活動報告

今年、医師・学生・研究者支援センターは発足して 9 年目を迎えました。文部科学省科学技術人材育成補助事業「女性研究者研究活動支援事業」(平成 25 年度～27 年度)の補助事業終了後も継続して、研究補助者配置(「ライフイベントサポート研究支援制度」に改称)や各施設での交流会などを行い、学内の環境整備を進めています。昨年度は新規に海外で活躍する研究者を国際メンターに任命し、9 月と 11 月に本学学生及び研究者を対象に海外での研究活動の展開とその支援について講演会及びメンター交流会を行いました。

また、ダイバーシティ推進本部事務局として法人人事部とダイバーシティ推進講演会を開催するなど法人全体のダイバーシティ実現に向けた活動もしています。

他に「学長裁量経費<研究活性化支援>」の交付を受けて、出向中の研究継続支援や研究指導と施設間の連携支援、大学院アンケート等を行いました。

当センターが中心となって昨年度申請した文部科学省補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(牽引型)」は、今年度、工学院大学、ITベンチャー企業 Dr.JOYに加え、国立がん研究センターとも連携し事業の採択を目指します。

(医師・学生・研究者支援センター長・教授 大久保ゆかり)

### 相談窓口

・年間延べ相談件数 40 件(研究相談含む)

### 就業継続・復職支援

・11月にキャリア・復職支援ベーシックプログラムを開催

講義：①高齢総合医学分野 ②褥瘡管理チーム (共に前回参加者の希望による)

→参加者 15 名(学生含む)

### 学生・研修医支援

・医学科学生および研修医に対して、授業やランチョンセミナーにおいてキャリアを考える機会の提供

・講演会(BSL 統合講義)の実施

演者：①のぞえ総合心療病院 精神科医 堀川百合子先生 ②富山大学 危機管理医学

高橋恵先生 ③救命救急センター 河井健太郎先生

### 調査・広報

・大学院アンケートの実施

・支援センターNEWSの発行(年3回)

### 育児支援

・ファミリーサポート利用実績：年間 825 件→前年より 200 件増

・介護支援策の検討

## 研究者支援

- ・ ライフイベント中の研究者に研究補助者を配置（のべ 17 名、うち男性 1 名）
- ・ 研究力アップ研修、相談事業、女性研究者交流会（全 12 回、うち茨城・八王子各 1 回）

実施、科研費申請個別指導・相談

- ・ 国際メンターによる講演会及び交流会（9/27 フロリダ大学教授 寺田直弘先生、  
11/9 NIH Staff Scientist 宝来玲子先生）